

ブームスプレーヤのノズル間隔拡大と防除効果

概要 Abstract

小麦の赤かび病とアブラムシ類、てん菜の褐斑病とヨトウガ、馬鈴しよの疫病、大豆のマメシンクイガとカメムシ類を対象としたいずれの試験とも、ブームスプレーヤのノズルピッチ(ノズル間隔)を50cmに拡大した処理区は、対照の30cmピッチ区(慣行)とほぼ同等の防除効果が得られました。



試験散布の様子(馬鈴しよ, 50cmピッチ)

成果 Results

表 畑作物の主要病害虫に対する試験結果の概要

作物	対象病害虫	試験年次 ^{※1}	
		2018年	2019年
小麦	赤かび病	試験 1 : ○ 試験 2 : ○	試験 3 : △ ^{※2}
	アブラムシ類	試験 4 : ○ 試験 5 : ○	試験 6 : ○
てん菜	褐斑病	試験 7 : ○	試験 8 : ○
	ヨトウガ	試験 9 : ○ 試験10 : ○	—
馬鈴しよ	疫病	試験11 : ?	試験12 : ○ 試験13 : ○
大豆	マメシンクイガ	—	試験14 : ○
	カメムシ類	—	試験15 : ○

※1 表中の記号は、以下を示す。

- ◎ : 50cmピッチは、対照(30cmピッチ)よりも効果が高い
- : 50cmピッチは、対照(30cmピッチ)と同等の効果
- △ : 50cmピッチは、対照(30cmピッチ)よりも効果がやや劣る
- × : 50cmピッチは、対照(30cmピッチ)よりも効果が劣る
- ? : 対象病害虫の発生量が少ないため、判定不可
- : 未調査

※2 試験3の補足説明

2019年に小麦の赤かび病を対象として実施した試験3では、50cmピッチ区の発病小穂率より対照の30cmピッチ区の方がやや低くなりました。しかし、当該試験圃場内で優占した *Microdochium nivale* による影響の大きい葉枯症状発病度と製品収量、および赤かび粒率とDON濃度の調査では50cmピッチ区と30cmピッチ区で差は認められませんでした。

協力 Cooperation

本研究は、『株式会社やまびこ』によるご支援により実施しました。

普及 Dissemination

1. ノズルピッチを50cmに拡大したブームスプレーヤで防除を行う際に活用できます。
2. 本試験は乗用管理機(RVHC650)にMGA8003ノズルを50cmピッチで装着して、100 L / 10a相当量を散布した試験結果です。

連絡先 Contact

十勝農業試験場
研究部 生産環境グループ
0155-62-2431
tokachi-agri@hro.or.jp